

2021年11月19日
商 工 中 金

商工中金景況調査（2021年10月調査）の公表について

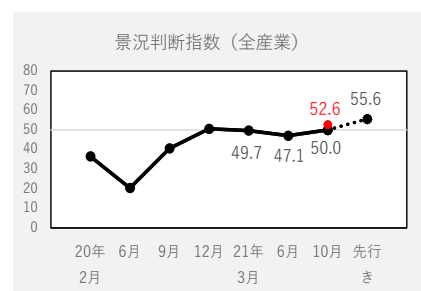
商工中金は概ね四半期に一度、中小企業の景況感をはじめとする実態把握のため、景況調査を実施しており、今般、2021年10月調査を公表しました。

＜定例調査：2021年10月の景況感＞

景況判断指数は50.0となり、景況感は下げ止まり 先行きは改善の見通し

10月の景況判断指数は前回比上昇し、「好転」と「悪化」の分岐点となる50.0となり、景況感は下げ止まり。

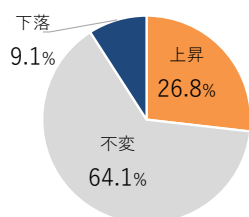
先行きの景況判断指数は55.6と改善見通し。



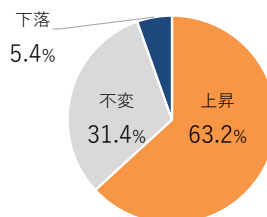
＜追加調査：販売・仕入（経費）および利益状況、コストアップへの対応策＞

経費コスト上昇に対し販売単価への転嫁が進まず、利幅圧迫 但し、販売数量の回復効果などが営業利益段階での落ち込みを緩和

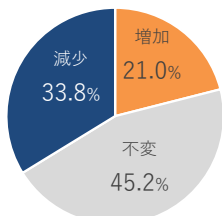
Q1-1 直近月の販売単価



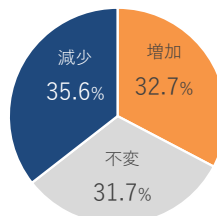
Q1-2 直近月の経費コスト単価



Q1-3 直近月の利幅



Q1-4 直近月の営業利益



（注）それぞれ1年前の同時期と比較。

本編資料は[こちら](#)をご覧ください。